

広報 おおくら

おかえり、なりわい灯す きよらなる里

4

令和5年
No. 764

● COVER 大蔵村保育所修了式

持続可能な 村をつくり上げるために

村議会3月定例会で新年度の村政の基本となる令和5年度施政方針が示されました。その内容についてお知らせします。

村政運営の基本としてこれまで一貫して「小さな村だからこそできる住民福祉の向上」、「心を寄せあった協働の村づくり」、「親切・丁寧・、わかりやすい行政運営」、「対話の中から明るく・優しく・元気な村づくり」の4点として、真の豊かさを求める村づくりを進めてきました。特にここ数年は安心・安全な村を存続していくための施策の重点的な展開を行ってきたところです。令和5年度の村政運営についても、固定概念にとらわれることなく柔軟な考えのもと、第4次総合計画に掲げる協働による持続可能な村づくりや安心で安全な生活空間づくりなど5つの施策の柱を着実に実行してまいります。

交流・関係人口の拡大

本村は、日本で最も美しい村連合に加盟し、連合の理念である人々の生活の中で培われてきた地域の文化や景観を守り、より良くして後世に伝えていくという運動を展開してい

ます。村内には、清水城跡や夏山塚、広大な棚田、特有の風情がある肘折温泉の街並みがあります。さらに、合海田植え踊り、大蔵太鼓、さんげさんげ、各地区で実施されている祭り等の伝統芸能や伝統行事等も保存継承されており、今後とも、こうした場所や行事等の保全に努め、交流人口や関係人口の拡大につなげてまいります。

災害への備え

大蔵村は厳しい自然環境下にあり、誰もが安心して暮らし続けることができるように、お互いに支え合う地域のつながりが必要です。

昨年12月中旬には、短期間での豪雪による倒木被害が多発し、長期にわたる停電により住民生活に多大な影響を及ぼしました。今後、このような大規模な停電が発生することがないよう、東北電力との協議を進めていきます。日本有数の豪雪地帯の大蔵村だからこそ、日本で最も雪との付き合いに長けた村づくりを進め

なくてはならないと考えます。

令和2年7月の豪雨災害を受け、最上川の治水対策について国土交通省に要望活動をしてきました。その結果、すぐに越水した白須賀堤防の嵩上げ、河道の掘削に着手され、昨年8月に県内を襲った豪雨災害時には、本村では最上川の増水被害を免れることができました。今後とも、自然災害への対応として、国や県に対し河川や土砂災害の危険個所の改修の要望を行います。併せて、消防団員の人員確保や装備の充実とともに、住民一人ひとりが「自分の命は自分で守る」力をつけることを目的として、自主防災組織の充実と研修や訓練の充実を図ります。

令和2年の豪雨被害を受け、災害対応拠点としての役場庁舎の在り方が大きな課題となりました。災害対応拠点としての機能を強化すべく、村民のみなさんの理解をいただきながら浸水被害を受けない場所への移転事業に着手いたします。

地域経済の立て直し

基幹産業の双壁である農業や観光産業など、本村特有の「なりわい」を盛り上げ、未来につなぎ、人の交流を生み出すための取り組みを行う必要があります。本村の農業は、基盤整備事業の進捗と歩調を合わせ、法人化や集落営農など大規模生産体制へと変化しています。これからも大蔵村産農産物のブランド力の向上とともに、農業法人の設立など生産体制の確立に意を配します。さらに、様々な制度を活用しながら総合支援事業に重点をおいた取り組みを展開し、新規就農者の確保に傾注してまいります。

肘折温泉を核とした本村の観光産業は、新型コロナウイルス感染症の影響を特に大きく受け、国や県の経済対策を活用しながら、村独自の支援を行いました。これと連動し、地域の若者が中心となり豪雪を逆手に取った取り組みなどは大きな話題となりました。こうした若者の新たな

発想、アイデアを結集した地域独自の活動が継続されるよう、観光関係者の協力を仰ぎながら村として支援を継続してまいります。

また、旅行スタイルの変化や外国人旅行者の増加に対応した取り組みも急務となっています。四ヶ村の棚田や山菜採りなど、本村の「なりわい」と結びついた着地型・体験型旅行商品の拡充とともに、村全体として「もてなし力」の向上に努めなければならぬと考えます。

人口減少対策

大きな課題である少子高齢化・人口減少・地域の活力減退といった負の連鎖に立ち向かわなければなりません。社会全体で若い世代の結婚・出産・子育てに対する不安や負担を解消する取り組みを積極的に展開します。

村では県の事業である「やまがたハッピーサポートセンター」の登録料の一部を補助する形での結婚支援を行ってきました。こうした事業の実施がすぐに若者の結婚、少子化の解消につながるわけではありませんが、様々な事業を模索し、少子化に対応していくことも重要です。

また明日を担う人材を育成するため、子どもたちは確かな学力を身に着けることはもちろん、次代を生き抜く豊かな心と柔軟な発想、創造性を育むことが重要と考え、家庭教育

育・学校教育の双方の充実を図ってまいります。

住み慣れた大蔵で生涯健康に

大蔵村の65歳以上の高齢者の割合は41・7%と高い水準となっています。高齢者がさらに元気に長く活躍できる社会参加や地域活動への支援、心も体も健康に過ごすための支援も充実させなければなりません。住み慣れたふるさとで、生涯健康やかに過ごすためには、健康が何より重要です。高齢者の運動習慣づくりや介護予防の意識改革の啓発のため、ふれあいサロン事業が村内13地区で行われています。今後、実施地区の拡大やプログラムの充実など更なる支援に努めてまいります。

地域医療は、村診療所を核とした予防医療、地域医療、看取りに対応する体制を整えています。各機関と連携し、保健・医療・福祉が一体となった医療体制を構築してきました。こうした体制をより強化するため、県立新庄病院との連携を更に進めてまいります。

自分らしい生き方の実現、地域で支え合える体制や安心できる生活基盤の整備、そして性差や障害の有無にかかわらず、誰もが活躍、社会参加できる支援や事業を村民のみなさんの協力を得ながら積極的に展開してまいります。

村政運営 5つの 施策の柱

安心できる安全な 生活空間づくり

住み続けたい村、住んでみたい村であるために防災力の向上と安全と安心の整備を目指します。

協働による 持続可能な村づくり

循環型社会と住民が主役となる地域づくりを目指し、協働の取り組みで持続可能な村づくりを進めます。

地域総がかりの人づくり

地域ぐるみの子育て支援の推進と未来を担う人材の育成で、村の宝である「ひと」を育てます。

生涯すこやかに 暮らせる地域づくり

健康づくりの推進や医療体制の充実などにより、誰もが生涯すこやかに、幸せに暮らせる地域を目指します。

地域の特色を活かした 魅力ある産業づくり

農業の持続と担い手の育成、観光資源の最大限の活用、安心して働ける環境づくりを目指します。

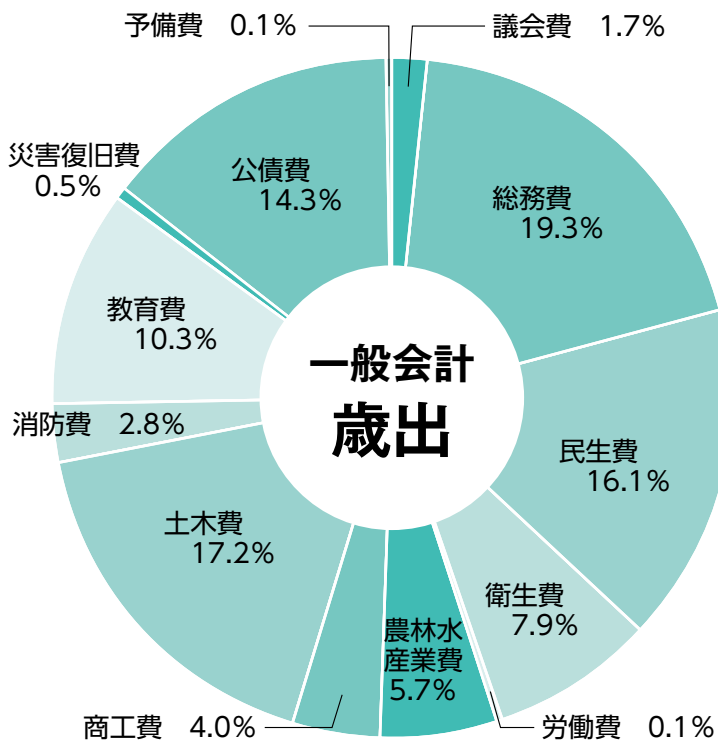
NEW PROJECT



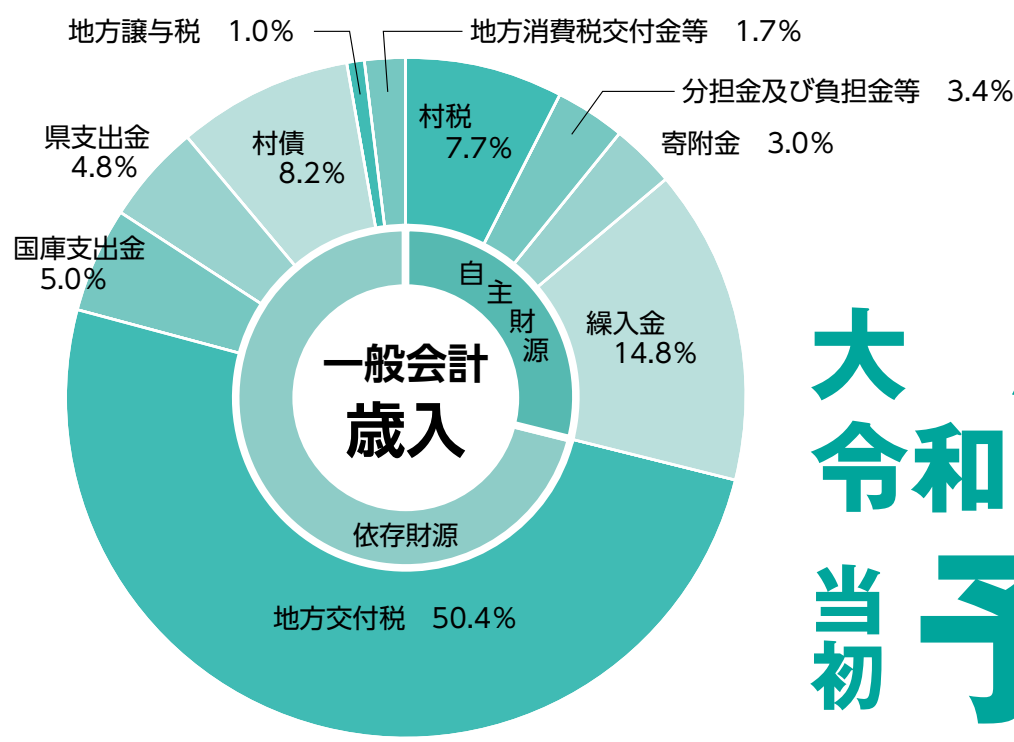
バスロケーションシステム導入
新庄-肘折間を結ぶゆけむりラインのバスにGPSを搭載した機器を乗せ、機器を載せることでバスの現在地を調べることができるようになります。(予算額112万円)



証明書のコンビニ交付事業
コンビニ等のマルチコピー機を利用して、印鑑証明書や住民票を取得することができるようになりました。(予算額105万5千円)



一般会計
当初予算額



村
令和5年度
当初
予算

38億9,000万円 (前年度比 7,000万円の増)

一般会計の概要

令和5年度一般会計の当初予算総額は38億9千万円で、前年度当初予算に比べ7千万円、率にして1.8%の増となっています。

歳入は、地方交付税や村債、国、県支出金の割合が非常に大きく、国の地方財政対策の動向次第で村の財政運営が大きく左右されてしまう状況です。そのため、課税客体の極めて少ない本村では、村税などの自主財源確保に努めています。

歳出は、総務費が全体の19.3%を占め、続いて土木費が17.2%、民生費が16.1%、公債費が14.3%、教育費が10.3%となっています。歳出の主な事業として、総務費については、升玉水力発電事業による地域還元のための商品券交付事業、肘折温泉―新庄間を結ぶ村営バスの位置情報を把握することができるバスロケーションシステムの導入事業、役場庁舎建設事業を予定しています。土木費については、近年の大雪に備えた除雪機械購入事

特別会計の概要

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その特定の歳入をもって特定の歳出に充てるために設置される会計で、村には7つの特別会計があります。特別会計の予算の合計は前年度比1億20万円(6.6%)の減となりました。

特定環境保全公共下水道事業特別会計では、令和2年度7月の豪雨災害により浸水した肘折下水処理場の災害対策に伴う耐水化事業が完了し、歳出が大幅に減少しました。

また、簡易水道事業、浄化槽整備事業の特別会計については、各事業とも大規模事業が完了し、今年度末からの公営企業会計適用に伴う移行事業を昨年度に引き続き予定しています。

今後とも「最小の経費で最大の効果を挙げる」という地方自治の本旨にのっとり、健全な行政運営に努めていきます。

財政用語を解説！

一般会計

道路建設、子育て支援、各種補助金など村の事業を管理する会計

特別会計

特定の目的(水道・国保など)一般会計と分けて管理する会計

自主財源

寄附金(ふるさと納税等)や村税など、村が自主的に得る財源

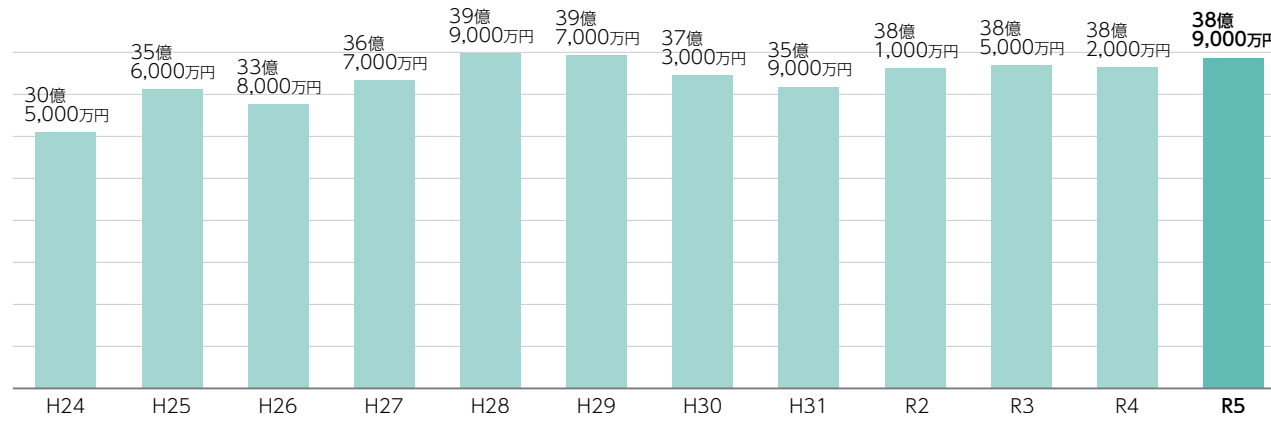
依存財源

国や県の規程に基づき、交付されたり割り当てられたりして得る財源

令和5年度特別会計予算額

会計名	本年度	前年度	増減率(%)
国民健康保険特別会計	4億1,500万円	4億1,670万円	△ 0.4
簡易水道事業特別会計	1億5,170万円	1億5,260万円	△ 0.6
特定環境保全公共下水道事業特別会計	1億4,760万円	2億2,470万円	△ 34.3
へき地診療所特別会計	2億1,460万円	2億1,160万円	1.4
介護保険特別会計	4億3,180万円	4億4,250万円	△ 2.4
浄化槽整備事業特別会計	2,610万円	3,410万円	△ 23.5
後期高齢者医療特別会計	3,670万円	4,150万円	△ 11.6

一般会計の当初予算額の推移



大蔵村職員体制

村 長 加 藤 正 美 副村長 安 彦 加 一 教育長 有 馬 眞 裕

総務課兼新庁舎建設室

課長兼新庁舎建設室長	田部井 英 俊
総務主査兼総務係長兼新庁舎建設室主査	門 脇 毅
政策推進主査兼政策推進係長兼新庁舎建設室主査	早 坂 和 洋
財政係長兼新庁舎建設室係長	早 坂 洋 大
主 任	福 本 有希子
主 任	富 樫 由貴子
主 事 補	早 坂 大 志
主任行政専門員	滝 沢 恒 彦

危機管理室

室長兼危機対策係長	東 谷 英 真
消防防災主査兼消防防災係長	八 鋤 弘

デジタル推進室

デジタル推進室長	佐 藤 克 也
----------	---------

住民税務課

課長兼国保年金係長	中 島 輝 美
課長補佐兼税務係長	佐 藤 信 一
住 民 係 長	信 田 祐 作
主 任	海 藤 俊 輔
主 任	後 藤 和 也
主 事	斎 藤 美 里
主 事	八 鋤 杏 子
主 事 補	斉 藤 怜

産業振興課

課 長	若 槻 寛
課長補佐兼農村整備係長	八 鋤 充 教
商工観光主査兼商工観光係長	井 上 沙 織
農地主査兼農地係長	齋 藤 祐 介
農政主査兼農政係長	早 坂 直 彦
主 任	須 田 純
主 任	横 山 鳳 夫
主 事	伊 藤 望
主 事 補	岡 田 琉 音
主任行政専門員	越 後 享

会計室

会計管理者兼会計室長	鳴 海 由紀子
出 納 係 長	元 木 文 恵

議会事務局

事務局局長補佐	岡 部 雅 人
---------	---------

健康福祉課

課 長	長 南 正 寿
福 祉 係 長	今 田 智 紀
健康衛生係長	伊 藤 浩 司
主 任	八 鋤 むつ美
主 事	安 彦 七 海
主 事 補	黒 田 佳 奈
主 任 保 健 師	早 坂 八千代
主 任 保 健 師	八 鋤 和 生
保 健 師	植 木 美 緒
健康福祉課付主任(社会福祉協議会)	五十嵐 千 絵

大蔵村保育所

主 任 保 育 士	佐 藤 友 美
主 任 保 育 士	高 橋 陽 子
保育士(放課後児童クラブ担当兼子育て支援センター担当)	八 鋤 美 幸
保 育 士	笹 原 美 愛
保 育 士	高 橋 芽 生
保 育 士	鈴 木 理 沙
保 育 士	齋 藤 舞 琴
調 理 師	国 分 真理子
調 理 師	岩 渕 あゆみ
調 理 師	伊 藤 さやか
調 理 師	横 山 沙 知
主任保育専門員(大蔵村保育所長)	小 内 仁 美

肘折保育所

主 任 保 育 士	八 鋤 那 奈
保 育 士	矢 口 英 伸
調 理 師	田 中 二三代
主任保育専門員(肘折保育所長)	小 内 仁 美

地域整備課

課 長	早 坂 健 司
維持管理主査兼維持管理係長	今 井 啓 之
建設主査兼建設係長	三 原 伸 也
上下水道係長	鈴 木 祐 一
主 任	佐 藤 寛 子
主 任	森 友 宏
主 事 補	古 瀬 凱 敏
主 事 補	清 水 大 輔
主任行政専門員	高 山 和 広

教育委員会教育課

教 育 課 長	羽 賀 明 美
指 導 主 幹	佐 藤 由 美
生涯学習主査兼生涯学習係長	早 坂 広 行
教育総務主査	柴 田 浩 充
主 査	佐 藤 美 輝
教育総務係長	小 林 大 輔
主 任	早 坂 優 範
主 任	柿 崎 洋 一
主 事	斎 藤 健 一

大蔵小学校

調 理 師	笠 原 和 代
調 理 師	國 分 愛 子

大蔵中学校

用 務 員	志 村 敏 子
調 理 師	伊 藤 清 美
調 理 師	小 屋 こづえ

大蔵村診療所

診 療 所 長	荒 川 光 昭
歯 科 医 長	伊 藤 充 也
医 科 医 長	矢 萩 舜
事 務 長	小 野 秀 司
看 護 係 長	佐 藤 睦 子
看 護 係 長	渡 辺 美津代
主 任 看 護 師	若 槻 和 枝
看 護 師	伊 藤 葵
主任歯科技工士	竹 田 洋 之
歯 科 衛 生 士	山 下 こず絵
歯 科 衛 生 士	鈴 木 唯 加
歯 科 衛 生 士	奥 山 実 夢
歯 科 助 手	安 彦 知 佳

選挙管理委員会(兼任)

書 記 長	田部井 英 俊
書 記	門 脇 毅
書 記	早 坂 和 洋
書 記	早 坂 洋 大
書 記	福 本 有希子
書 記	富 樫 由貴子
書 記	早 坂 大 志

人事異動

4月1日付で村職員人事異動が次のように行われました。よろしく願いいたします。

▶ 昇 任

氏 名	新 任	前 任
羽 賀 明 美	教育委員会教育課長	教育委員会教育課課長補佐
早 坂 健 司	地域整備課長	地域整備課課長補佐兼建設係長
岡 部 雅 人	議会事務局局長補佐	総務課政策推進主査兼政策推進係長兼新庁舎建設室主査
八 鋤 充 教	産業振興課課長補佐兼農村整備係長	産業振興課農村整備主査兼農村整備係長
早 坂 和 洋	総務課政策推進主査兼政策推進係長兼新庁舎建設室主査	総務課財政係長兼新庁舎建設室係長
柴 田 浩 充	教育委員会教育課教育総務主査	地域整備課維持管理係長
早 坂 直 彦	産業振興課農政主査兼農政係長	健康福祉課福祉係長
早 坂 洋 大	総務課財政係長兼新庁舎建設室係長	総務課主任兼新庁舎建設室主任
森 友 宏	地域整備課主任	地域整備課主事
早 坂 蓮	産業振興課主事	産業振興課主事補

▶ 異 動

氏 名	新 任	前 任
長 南 正 寿	健康福祉課長	会計管理者兼会計室長
佐 藤 克 也	デジタル推進室長	危機管理室長兼危機対策係長
東 谷 英 真	危機管理室長兼危機対策係長	議会事務局長
鳴 海 由紀子	会計管理者兼会計室長	教育委員会教育課長
田部井 英 俊	総務課長兼新庁舎建設室長	健康福祉課長
中 島 輝 美	住民税務課長兼国保年金係長	住民税務課長
若 槻 寛	産業振興課長	地域整備課長
佐 藤 美 輝	教育委員会教育課主査	地域整備課主査
佐 藤 信 一	住民税務課課長補佐兼税務係長	住民税務課課長補佐
今 井 啓 之	地域整備課維持管理主査兼維持管理係長	産業振興課商工観光主査兼商工観光係長
井 上 沙 織	産業振興課商工観光主査兼商工観光係長	会計室出納主査兼出納係長
三 原 伸 也	地域整備課建設主査兼建設係長	産業振興課農政主査兼農政係長
齋 藤 祐 介	産業振興課農地主査兼農地係長	住民税務課国保年金主査兼国保年金係長
今 田 智 紀	健康福祉課福祉係長	産業振興課農地係長
元 木 文 恵	会計室出納係長	住民税務課税務係長
佐 藤 友 美	大蔵村保育所主任保育士	肘折保育所主任保育士
八 鋤 那 奈	肘折保育所主任保育士	大蔵村保育所主任保育士
佐 藤 寛 子	地域整備課主任	産業振興課主任
斉 藤 怜	住民税務課主事補	健康福祉課主事補

▶ 新規採用

氏 名	新 任
佐 藤 由 美	教育委員会教育課指導主幹
黒 田 佳 奈	健康福祉課主事補
清 水 大 輔	地域整備課主事補
早 坂 大 志	総務課主事補

▶ 再任用

氏 名	新 任
越 後 享	主任行政専門員(産業振興課付)
小 内 仁 美	主任保育専門員(大蔵村保育所長兼肘折保育所長)

▶ 退 職

令和5年3月31日付		
氏 名	前 任	
矢 口 真二郎	総務課長兼新庁舎建設室長	
越 後 享	産業振興課長	
小 内 仁 美	大蔵村保育所長兼肘折保育所長	

さとうのりたけ 佐藤則武さん(沼の台出身)へ 村民栄誉賞が贈られました



3月20日(月)、大蔵村で初めての受賞者となる、佐藤則武さんへの村民栄誉賞の授賞式が行われました。

佐藤則武さんは沼の台地区のご出身で、23歳のときに「日光社寺文化財保存会」に入り、長年塗師として文化財の美しさの要でもある「漆塗の輝き」を守られてきました。平成25年からは漆塗管理技術者として漆塗部門の統括を担い、日光二社一寺においては国宝である陽明門をはじめ、90棟を超える国宝や重要文化建造物の漆塗工事や調査に携わっています。その功績が国の文化審議会でも認められ、文



化財を支える伝統の名匠である「選定保存技術建造物漆塗の技術保持者」として初めて認定されました。

村民に夢と希望を与えるとともに、全国で本村の名を広く知られることとなったこの功績に対し、大蔵村初の村民栄誉賞を贈ることとなりました。

佐藤さんは中学卒業後、内装工事を請け負う塗装の会社に就職しました。当時は高度経済成長期で、建物の塗装の仕事は次から次へと舞い込みましたが、建物のリニューアル等ですぐに塗り直されるなどして自分の仕事が後に残らないこと

に疑問を抱いていたそうです。そこで百年先にも残せる仕事をしたいと一念発起し塗師の世界へ飛び込んだのです。それから50年にも渡り、第一線で活躍されてきましたが、今でも仕事を終えた後に「ここをもっとこうすればよかった」「次はこういう風にしてみよう」といつも考えるそうです。常に完璧を追い求める性分で、日々技に磨きをかけています。

佐藤さんは、「選定保存技術建造物漆塗の技術保持者」に選ばれ、自分ももっと仕事をしたいと思われているように嬉しかったです。そんなときに初の村民栄誉賞というお話もいただき、身に余る思いがしました。これからも精進していきます」と話しました。また、自分が帰ってこられる場所、大蔵村があるのは今住んでいる住民の皆さんのおかげ、とも話し、「これからどうにかしてその恩を返せば」と締めくくりました。

令和4年大蔵村表彰等授与式

3月20日(月)、中央公民館にて大蔵村表彰等授与式が開催され、各分野で活躍された皆さんへ表彰状等が授与されました。

村民栄誉賞▽佐藤則武さん(公財日光社寺文化財保存会建造物漆塗師)

表彰状▽鈴木君徳さん(村議会議長7年8か月)、加藤忠己さん(議会議員11年8か月)、八鍬賢一さん(教育委員20年1か月)、須藤英光さん(情報公開審査会委員20年)、大山信裕さん(保護司20年8か月)

感謝状▽早坂民奈さん(議会議員7年8か月)、佐藤雅之さん(議会議員7年8か月)、佐藤勝之さん(農業委員11年8か月)、斉藤徳美さん(11年6か月)、高山茂さん(10年)、國分亨さん(固定資産評価審査委員11年9か月)、松田与市さん(情報公開審査会委員10年9か月)、伊藤真喜子さん(保健衛生推進委員11年9か月)、土屋直美さん(保健衛生推進委員11年9か月)、矢口賢さん(学校職員10年9か月)、鈴木義雄さん(青少年教育20年以上)

卓越技能顕彰▽早坂諭さん(建築大工51年10か月)、海藤孝良さん(建築大工52年10か月)

スポーツ協会表彰状▽長南美来さん(第22回全日本少年少女空手道選手権大会山形県予選会小学4年生女子組手第1位)

第40回 健康のつどい

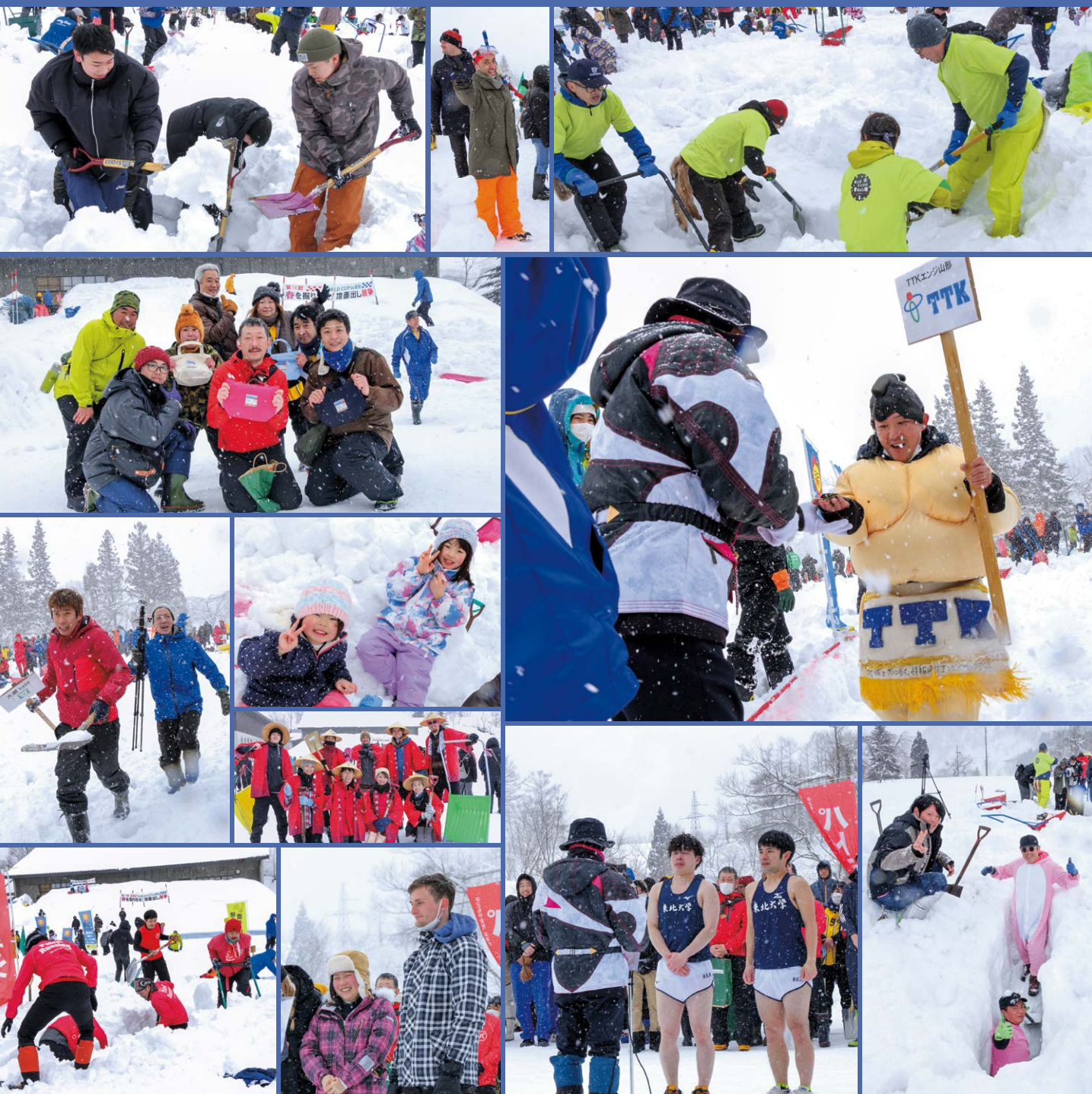
3月5日(日)、4年ぶりとなる「健康のつどい」が開催され、住民約200人が参加しました。恒例の寸劇では、コロナウイルスの流行をきっかけに検診から足が遠のいてしまった「田吾作さん」を診療所の荒川先生が熱演。「診療所の荒川先生が検診を受けるってしつこくて」というせりふで会場を沸かせました。

後半の部では俳優の高橋英樹さんが、自身の生活や経験をもとに健康で楽しく毎日を過ごすためのヒントを話してくださいました。高橋さんは、厳しい時代劇の撮影をこなすための秘訣として、体を鍛えるトレーニング、美味しいものを食べる、趣味や会話を楽しむことなどを挙げました。また、少々無理をしても口角を上げて笑顔を作ること、自然と楽しい気分になると話しました。講演には往年の銀幕スターたちのエピソードがちりばめられ、そうした裏話に参加した皆さんは心を弾ませて聴き入っていました。

物事に感動することが出来る「感受性」を豊かにするために、友達をつくる、ひととよく話す、また美意識を高める、美術に触れることも効果的だと話されました。

参加した皆さんは、「寸劇がとてもよかった！来年もつづけてほしい」「英樹サイコー！4年間待った甲斐がありました。大いに笑いました」と久しぶりの人の集まるイベントを楽しんだ様子でした。





地面出し競争 World cup in 肘折

2月26日(日)、4年ぶりの開催となる「第14回地面出し競争ワールドカップ in 肘折」が、肘折生涯学習センター(旧肘折小学校グラウンド)で行われ、県内外から41チーム210名が参加しました。新型コロナウイルスの影響で長らく中止が続いていた中での、皆が待ちに待った開催。午前9時の受付開始よりもずっと早い時間にも関わらず、会場には参加するチームの方々が始まるのをそわそわ、ワクワクと待っていました。積雪は290センチメートル、天候は雪、ときどき曇り。お祭り日和とはいえないコンディションの中、会場の人々の顔を見れば、気持ちの高ぶり、楽しさが見て取れました。

白熱の予選、ソリンピック

この地面出し競争の前哨戦が「ソリンピック」です。これは地面出しの予選競技で、より長くソリを滑らせることができたチームから雪を掘るフィールドを決めることができます。スタートを横並び一斉に走り出す地面出し競争において場所決めは非常に重要です。早く掘るだけではなく、早くフィールドにたどり着く、早く掘り出した土を本部へ届けることに大きく関わってきます。

ソリンピックでは、全身タイツや力士のコスチューム、陸上競技用のタンクトップに短パン姿など様々な格好の方が大会の盛り上げに一役買っていました。スタート直後に転倒する人や、距離をどんどん伸ばしていく人と様々です。ソリンピックで自分たちのフィールドを決定すると、参加者は全員、スタート地点へ戻り、隣の人と談笑をしたり、準備運動をしたりして開始の合図を待ちます。

本戦開始

「さん、に、いち、スタート」という掛け声と同時に出場者が一斉に走り出します。ドドド、という地響きのような音が聞こえるほどの迫力です。膝上に達するほどの雪をかき分けて自身のフィールドへたどり着くと、全員が一心不乱にスコップやスノードンプを雪に差し込みました。「がんばれー」という見物客からの声援に、手を振って応え、お互いに声をかけながら地面を探します。やみくもに掘れば良いというものではなく、掘り進める人の体格に合わせた幅を効率よく階段状に雪を掻きだしてやる必要があります。

「おー来た、来たー」一番目「スタート」からわずか7分で、春を掘り起こしたチームが駆け込み、雪ごと握りしめた土を審判長に差し出しました。「はいーOKーおめでとうー」山形東亜DKKチーム(新庄市)が今年の優勝者に決定した瞬間です。その後も次々と額に汗を流しながら土を手にしたチームが走り込み、開始から58分で最後のチームもゴールしました。

1位から3位までの入賞者のほか、大会を盛り上げたベストパフォーマンス賞が雪は主食チームへ、最下位から2番目のブービー賞が加藤くんと愉快的仲間たちチームへ賞品と共に授与され、最後は肘折の観光協会長の柿崎邦彦さんの万歳三唱で、春を掘り出す熱い戦いは幕を閉じました。

祭りの後の静けさは少し寂しさを感じさせますが、終わった後も他のチーム同士で写真を撮る参加者の皆さんの表情は清々しく晴れやかでした。「また来年ねー」と話す姿に、地面出し競争を通じた人々との確かなつながりを感じました。

14th Champion! TEAM 山形東亜DKK

今回の大会で優勝を果たした山形東亜DKKチームの皆さんにお話を伺うことが出来ました。

念願だった金のスコップを手にすることが出来て本当にうれしく感じています。毎年シードには入っていたのですが、なかなか優勝の壁は高くて。

参加を言い出したのは星川さんで、第4回大会から毎年出場しています。星川さんが固定、他のメンバーはその年の様子を見て、交代したりしながら続けています。

DKKが会社で地面出しの練習をしている、と大会参加者の皆さんの中でウワサになっていたと聞いて驚きました。練習というか、当日の動きをシミュレーションしているというのが実際のところ。中に入って掘り進める人の体格に合わせた幅、角度を考え、当日一番効率のいい動きができるように1、2回打ち合わせをしています。

地面出し競争の当日は万端の体調で臨みました！土を持って走っていったとき、無我夢中だったので最初は優勝したことにみんな気づきませんでした。やり切ったと



いう気持ちでいっぱい。周りの人に教えられたり、チーム名のプラカード(ゴールする際に土と一緒に審判に手渡す)がまだ自分たちのものしか無かったりして、そこでようやく優勝したとわかりました。とても嬉しかったですね！

来年も同じメンバーが出場するとは限りません。その年の体調の良い者から選びたいと思います！連覇はしてみたいのですが、しすぎて殿堂入りしていちチームとして出場できなくなったら寂しいのでほどほどに。優勝チームとして来年も頑張りたいと思っています！



Profile
山形東亜DKK株式会社(新庄市)の有志。14回大会メンバーは早坂隆志さん、星川俊也さん、芝浦智哉さん、佐藤睦太さん、高橋壮典さん、佐々木凛太郎さん。

interviewee
ヤマデランズ 天本里実子さん
(山形市・肘折出身)



Profile
山寺観光協会の外国語ガイド、Yamaderans(ヤマデランズ)の一人。県内在住の山寺を愛する地元ガイドが山寺(立石寺)の魅力を多言語で紹介している。

ヤマデランズは、山寺に来たお客さんに県内の「いいところ」や「おいしいもの」を紹介するため、積極的に山形の魅力発信をしています。メンバーの「肘折の地面出しに出たい！」という一言をきっかけに、大蔵わさび体験+地面出し競争出場という楽しい企画が実現しました。

もちろん私を除く全員が初出場でした。2.9mの雪を掘るという挑戦は思った以上に変化だったようです。途中、先にゴールした選手たちに「まだまだだな」と言われ(笑)希望を失いそうになりながらも声を掛け合い、30分以上かけて土を掘り当てたときの感動はやっぱり地面出し競争ならではの。チームの絆も深まりました。

初めて肘折に来てくれたメンバーがほとんどでしたが、前夜祭の盛り上がりや大会を通してのおもてなしにもとても感動していました。Oh蔵スポーツの皆さんをはじめ、地元の皆さんの連携の上手さ、笑顔に溢れた対応、誰でも受け入れてくれる懐の深さなど、大蔵村のいいところが凝縮されたような大会だったと思います。

終わった直後に、「来年も絶対参加しよう！」「ヤマデランズの恒例行事にしよう！」という声が聞かれました。ヤマデランズの参加を通して、共に山形県の主要観光地である山寺と肘折の繋がりを深められたら、これほど嬉しいことはありません。

WHAT IS

地面出し競争World cup in 肘折!?

春を掘り出そう！

日本国内でも有数の豪雪地帯である肘折温泉で繰り広げられる熱き戦い、「地面出し競争」をご存じですか？これは2009年に閉校した肘折小中学校の雪上運動会の名物競技として42年前に生み出されたもので、当時は主に中学生の男子や先生たち、保護者らがタイムを競い合う競技として定着していました。子どもの数が減ったことで、閉校の間際には女子も参加するようになり、また子どものチームが少ないことから保護者や先生のチームが増えました。学校だけではなく肘折地区全体で参加する名物競技となっていました。閉校と同時に運動会もなくなり、誰もがこのまま失われてしまうものと考えていました。

しかし、当時帰郷して間もない肘折中学校の卒業生や地元で働く卒業生、そして創設したばかりの大蔵村総合型地域スポーツクラブOh蔵SPORTが中心となり競技を引き継ぎました。「この競技だけでも残したい」という想いから、「World cup in 肘折」と銘打ち復活させたことで、歴史は新たなページへと進んだのです。



進化していく地面出し競争

第1回大会では地元肘折内のチームを中心に9チームが参加しましたが、第2回大会には14チームと出場チームの数を伸ばし、第3回大会がテレビに取り上げられたことを皮切りに、その後は上限いっぱい応募が相次ぎました。モニターツアーとして参加する海外からの観光客や、県内のALT(外国語指導助手)やCIR(国際交流員)らで構成されるチームも参加するようになり、World cupという名の通りの国際色豊かな大会と変化していきました。

毎回これが楽しみ！前夜祭

大会前日の夜には前夜祭が行われ、参加者が地元の人に地面出しのコツを聞いたり、工夫をこらしたチームの自己紹介をしたりして交流を深めます。今年は大会直前に結婚したばかりの外国人カップルが参加していたため、サプライズでケーキを用意し、その場の全員でお祝いをする小さなウェディングパーティーを行いました。事務局からの粋な計らいに、はにかみながらも喜んでくれた様子で、一同がよろこびを分かち合った瞬間でもありました。

この地面出し競争はバス地方のスポーツに似た、肘折地区独自のルール(田舎の)スポーツと言えます。スペインとフランスにまたがった場所に位置するバス地方には独自の文化があり、食文化や街並みや伝統行事のほか、草刈りや200kgもの大岩を持ち上げる力比べ、切株割りなどが競技として多くの人々に親しまれています。それら他のどこにも無い独自の競技は世界中からの注目を集め、バス地方の誇りとなりました。豪雪を掘り起こし、雪深い肘折に一足先に春を呼ぶこの競技。郷愁をかきたてられた肘折出身者たちが毎年参加するために帰省するだけではな

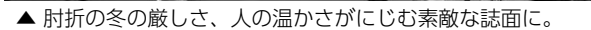
く、大会や肘折に関わる人々を観戦者として、参加者として、そして支援者として迎え入れています。

バスのスポーツのように、この地面出し競争もまた「肘折人」のアイデンティティを象徴するものになっていると思います。豪雪を逆手に取り、「見ても・やっても・支えても」楽しい地面出し競争を、ワールドカップの名が示すとおり、肘折に関わる「肘折人」を世界中に増やし皆が集える、そんなイベントに育てていければと夢は膨らみます。厳寒なはずが、なぜか芯から熱くなる、かのバススポーツのように。

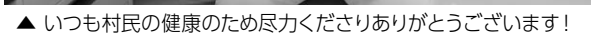
interviewee
やくわ ひろゆき
大会事務局 八鍬 博幸さん
(肘折)



Profile
NPO法人Oh蔵スポーツ事務局長を務め、第1回大会から運営を行っている。大会や地区では「会長」「ひろゆきさん」の名で広く知られている。

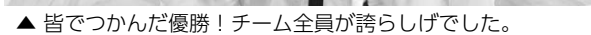


皆さんは2/22(水)の山形新聞に山形県民共済の広告として、一面に大きく肘折温泉の写真が掲載されたのをご覧になりましたか？「がっぱり四つで向き合う、相手は日本有数の”豪雪”だ。」というタイトルで肘折を紹介していただき、厳しい環境で生きる住民の強さ、気持ちの温かさが伝わる一面となりました。また2/27(月)には掲載された紙面のパネルを山形県民共済の佐藤理事長自らお持ちいただき、村に寄贈していただきました。パネルは役場玄関で見ることができます。

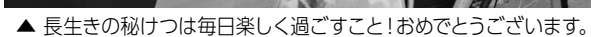


大蔵村診療所所長の荒川光昭先生が、第16回地域医療貢献奨励賞を受賞しました。この賞は、地域における医療の確保と向上及び住民の健康福祉の増進に寄与・貢献している医師を表彰し、地域医療に一層の活躍を期待するために顕彰するものです。

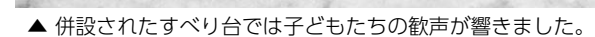
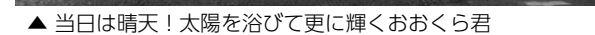
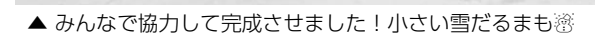
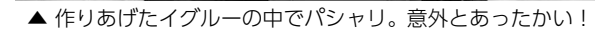
荒川先生は、本村の医療・福祉・保健の連携確保を構築し、日常外来に加え在宅医療の緊急時の連絡体制を整備し昼夜を問わず精力的な医療を行ってきました。このような、地域に根差した医療活動が評価され、この度の受賞につながりました。



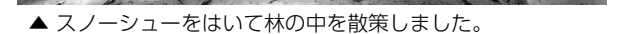
大蔵一球スポーツ少年団の3年生以下14名で構成されるティーボールチームが、2/18(土)に真室川町で開催された第8回新庄・最上地区ティーボール交流大会安食杯で優勝しました。今回出場した全10チームでリンク戦(簡易リーグ戦)を行い、上位2チームによる決勝戦で見事勝利し優勝をつかみ取りました。この大会で優勝したことで、5月に行われる第13回新庄最上地区ティーボール大会へのシード権を獲得し、今後の活躍に期待が寄せられています。



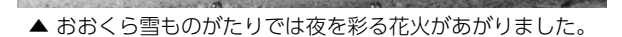
3/10(金)、翠明荘で佐藤キヨさん(合海)に村から長寿祝金が贈呈されました。佐藤さんは大正12年に生まれ、3月で100歳を迎えられました。長寿の秘訣は何でもよく噛んで食べること、よく笑うことだそうです。佐藤さんはお風呂に入ること、そして食べることが大好きで食事は毎日残さず食べています。みんなとお話しながらお茶を飲んだり、テレビを見たり、たたみものが日課で、毎日楽しく翠明荘で過ごしているそうです。これからもお元気でいてください。



2/25(土)に清水城跡でおおくら雪山塾が開催され、大蔵小学校5年生9名が参加しました。時折吹雪が起きる天候でしたが、子どもたちは雪の中をスノーシューを履き元気に進んでいきました。清水城跡まで到着すると、青少年育成推進委員ら大人たちとも協力して雪で作ったブロックを積み上げ、イグルー（イヌイット式かまくら）を作り上げました。参加した子供たちからは「イグルーを作ったり、歴史を学んで、雪合戦で遊んでとっても楽しかった」との声が聞かれました。



肘折温泉の冬の風物詩、巨大雪だるまのおおくら君29世の完成式が3/15(水)に行われました。ワールドカップ杯で日本中が湧いた「ブラボー」の文字がおなかに映える今年のデザインは、大蔵中学校の蔵津斗望さん(合海)によるものです。3/18(土)にはおおくら雪ものがたりが開催され、完成したばかりのおおくらくんのバックに冬の花火が上がりました。写真を撮影していた方からは、「毎年おおくら君を撮りに来ている。またこうして賑わってうれしい」との声が聞かれました。





国民年金のご案内



▶国民年金は20歳から！

国民年金は、自分で働くことができる間にみんな保険料を出し合い、自分で働いて収入を得ることができなくなったときに年金を受け取れる仕組みで、生涯の生活を維持していくために作られました。日本国内に住所のある20歳から60歳未満のすべての人は国民年金に加入し、その保険料を納めることが義務づけられています。年をとったときや病気やけがで障がいが残ったときに、保険料を納めた期間に応じて年金を受け取ることができます。

▶国民年金保険料を納付するには

令和5年度の国民年金保険料は月額16,520円です。日本年金機構が送付する納付書を使って、金融機関や郵便局のほか、コンビニエンスストアやスマートフォンアプリを利用した電子決済で納めることができます。毎月の保険料は納付期限まで納める必要があり、納めない場合は障害基礎年金や遺族基礎年金を受給できない場合があります。

▶学生納付特例制度

20歳になったときから国民年金保険料の納付が必要ですが、学生は申請により在学中保険料の

納付が猶予される制度があります。

▶保険料は前納（まとめて前払い）が便利

国民年金保険料の前納制度を活用し現金でまとめて支払うと表のとおり割引があります。

納付方法	前納額	割引額
6か月前納 (通常99,120円)	98,310円	-810円
1年前納 (通常198,240円)	194,720円	-3,520円
2年前納 (通常396,480円)	387,170円	-14,840円

※2年前納で納付するためには年金事務所での手続きが必要です。

▶国民年金種別の変更について

就職や退職、結婚などで国民年金種別が変更になった場合はその都度届出が必要です。

▶国民年金種別の変更手続き時の必要書類

印鑑、保険証、年金手帳、社会保険・厚生年金資格喪失連絡票などの資格喪失日のわかる書類をお持ちください。

※学生納付特例制度、国民年金種別の変更手続きは、マイナポータル、役場窓口またはお近くの年金事務所で行うことができます。

●住民税務課国保年金係 ☎75-2103(内線263)



令和5年度農事代表のみなさんをご紹介します

▶各地区の農事代表のみなさんです

1年間よろしくお願いします。

熊 高	小野 繁喜	柳 洙	早坂 秀一
通 り	國分 武	肘 折	横山 勇悦
白須賀	高山 賢也	金 山	結城 広行
上竹野	長瀬 俊夫	鍵金野	早坂 敏雄
比良稻沢	中島 慎也	豊 牧	長南 克弘
藤田沢	鈴木 千明	滝の沢	佐藤 勝
桂	芦原 宏美	沼の台	佐藤 豊彦
清 水	海藤 一利	平 林	須藤 英光
合 海	松田 与市	赤 松	柿崎 博
作の巻	安彦 健一	烏 川	八鍬 和之
大 坪	早坂 文夫	升 玉	八鍬 春雄
塩	林 多栄美		

●産業振興課農政係 ☎75-2105(内線234)



農業委員/農地利用最適化推進委員推薦・募集について

現農業委員が7/19で任期満了になることに伴い、次期の農業委員の推薦及び募集を行います。

▶募集人数 農業委員：7人

農地利用最適化推進委員：4人

▶募集締切 4/14(金)まで必着

▶職務内容

・**農業委員** 農地法等の権限事務について、審査及び決定を行います。

・**農地利用最適化推進委員** 担当する地区において、担い手農家への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等の調整を行います。

▶任期・報酬等

農業委員 任期R5.7.20～R8.7.19

報酬：年額230,000円

農地利用最適化推進委員 任期R5.7.20～R8.7.19

報酬：年額161,000円

▶応募方法

推薦申出書又は応募申出書に必要事項を記入の上、添付書類を添えて、郵送または持参により大蔵村農業委員会事務局まで提出ください。

●産業振興課農政係 ☎75-2105(内線234)



令和5年度地区代表のみなさんをご紹介します

▶各地区の地区代表のみなさんです

1年間よろしくお願いします。

熊 高	矢口 智	塩	柿崎 光昭
通 り	後藤 俊悦	柳 洙	伊藤富士夫
白須賀	早坂 恭一	肘 折	大友 久士
上竹野	斉藤 貞美	金 山	菅野 熟
比良稻沢	角川 憲一	鍵金野	早坂 敏雄
藤田沢	鈴木 求	豊 牧	長南 英治
桂	柿崎 勝吉	滝の沢	佐藤 忠良
清水一	安喰 裕紀	沼の台	中島 道吉
清水二	長南 泰久	平 林	須藤 薫
清水三	土屋 徹	赤 松	五十嵐弘幸
清水台	海藤 敏文	烏 川	梅本 勇喜
合 海	矢作 俊郎	升 玉	八鍬 静雄
作の巻	八鍬 清	季の里	佐藤 利男
大 坪	鈴木 君徳		

●産総務課総務係 ☎75-2111(内線211・212)



村営バスについての意見を募集します！

村営バス（ゆけむりライン、村内路線）に関するご意見を広く募集します。日ごろの利用でお気づきのことはありませんか？今後の運営のための参考にさせていただきたいと思いますので、ぜひご意見お聞かせください。

▶記入事項

名前、路線名、ご意見を、村ホームページのフォームより記入してください。

<https://www.vill.ohkura.yamagata.jp/soshikikarasagasu/somuka/>

[gyomuannai/24/1/1/1683.html](https://www.vill.ohkura.yamagata.jp/gyomuannai/24/1/1/1683.html)

QRコードを読み込み、スマートフォンからも送信することができます。

●総務課政策推進係 ☎75-2111(内線213・214)



古写真で見る

大蔵村の歴史



No.1

我らが母校の昔

肘折歴史研究会が、大蔵村で撮られた古い写真を解説付きで紹介します！



明治40年の大蔵尋常高等小学校

「尋常科」は現在の小学1～4年。「高等科」は小学5年～中学2年。つまり、大蔵小中学校ということですね。明治時代、村内に高等科は清水にしかなく、大正に入ってから肘折にも設置されました。



永松小中学校

昭和28年ごろの永松小中学校。大きくて立派な校舎ですね。ところで、歴史コラムは去年で終わりだと思っていたんですが…。



すっごく好評だったから、このまま続けることにしたんだ～！

NEW

「やまがた縁結びたい」
結婚相談会のお知らせ

「やまがた縁結びたい」(県に登録しているボランティア仲人)と協力して、結婚相談会を開催します。

▶相談日程(申込締切)

いずれも土曜日

4/8(4/6)、5/13(5/11)、
6/10(6/8)、7/8(7/6)
8/5(8/3)、9/2(8/31)

▶時間 13:00～16:45

▶対象者 結婚を希望する方(各回5組、1組45分程度)

▶会場 やまがたハッピーサポートセンター最上支所

▶申込 電話で下記までお知らせください。

☎やまがたハッピーサポートセンター
☎023-687-1972

☎やまがたハッピーサポートセンター
最上支所 ☎29-18380

チャンスをつかむ
インターネットビジネス

インターネットを活用した広告及びコマースの現状を理解することで、インターネットを活用したビジネスチャンスの拡大を検討できる知識を習得します。

▶日時 5/2(火)、5/8(月)
各日9:00～17:00(7時間×2日)

▶場所 村山市LinkMURAYAMA

▶対象 在職者(事業主からの申込が必要です)

▶定員 15名(最少催行人数6名)

▶費用 5,500円

▶申込 4/11(火)まで申込用紙

の請求も含めて下記へ電話してください。

☎ポリテクセンター山形生産性向上人材育成支援センター

☎023-686-2008

小原流いけばなこども教室
開催のお知らせ

いけばなを通して心豊かな生活の実現し、想像力を育み優しい心や命の尊さを学びます。参加回数により小原流初等科免状(別途料金)が取得できます。

▶日時 いずれも日曜日9:00～
5/14、6/10～11(みんなの花展)
7/9、8/20、9/10、10/15、
11/12、12/10

▶場所 新庄市民プラザ

▶対象 小学生～中学生

▶参加費 1回1,000円

▶募集人数 15人程度

▶申込 4/25(火)まで下記へ連絡
☎(一財)小原流新庄支部新庄教室
担当 植松路子 ☎080-1858-0201

自衛隊神町駐屯地
一般開放のお知らせ

陸上自衛隊第6師団創隊61周年及び神町駐屯地創立67周年記念行事を開催します。ぜひおいでください。

▶日時 4/16(日)8:00～15:00

▶場所 神町駐屯地(一般開放)

※車で来場は混雑が予想されます。チラシやホームページで入場口を確認の上、東門又は西山門からの入場をお勧めしています。

※さくらんぼ東根駅、天童駅から

の無料シャトルバスを用意していますのでご利用ください。

第6師団

☎陸上自衛隊第6師団司令部総務課広報班
☎0237-48-1151(内線5374)

トラクター運転技術研修
大型特殊・けん引(農耕用)

トラクター(大型特殊及びけん引)の運転技術の向上を図ります。

▶日時 6/5(月)～6/14(水)

※土日を除く

▶場所 県立農林大学校「緑風館」

▶募集人数 共に14名ずつ

▶費用 受講料1,000円、受験料2,600円、免許交付2,050円

※大型特殊とけん引の同時受講はできません

※研修の全日程に出席できる方に限ります。

※申込多数の場合は抽選で受講者を決定します。

▶申込 下記ホームページから申込用紙を取得し必要事項を記入し、記載されたFAX、メール、郵送のいずれかで提出してください。

山形県農林大学校

☎県立農林大学校
研修部

☎0233-23-7537

COVER

表紙の写真

小内先生から手渡された修了証を、「ありがとう！」の言葉と共に親御さんへ渡しているシーンです。式では大きな声で歌を歌ったりお返事をする事が出来ました

撮影日: 3月24日

撮影場所: 大蔵村保育所

編集
後記

かつて私が中学生(肘折中)だった頃は雪上運動会の地面出しと言えば地獄の競技で、女子は免除されていたけど、やりたくない競技でした。大人になって運営側にまわり何年も関わりましたが、今年の地面出しは特別だったなと思います。特集を組めて嬉しい!たくさんの人にこの魅力が伝わるといいなあ。 ゆきこ



かぶりものをこよなく愛する者同士、初対面とは思えないほど仲良しな写真を撮りました。すべらないよ! そう、それが地面出し…… ゆきこ

中央公民館
図書室 新刊紹介

【児童】「二番目の悪者」

林木林/小さい書房



金色のたてがみを持つ金のライオンは、一国の王になりたかった。自分こそが王にふさわしいと思っていた。ところが、街はずれに住む優しいライオンが「次の王様候補」と噂に聞く。ある日、金のライオンはとんでもないことを始めた。登場するのは動物ばかり。人間はひとりも出てきません。「これが全て作り話だと言い切れるだろうか」と、どの年代でも考えさせられる絵本です。

【大人】「#真相をお話します」 結城真一郎/新潮社



子どもが4人しかいない島で、私たちは「Youtuber」になることにした。でも、ある事件を境に島のひとたちがよそよそしくなっていく……(「#拡散希望」)。

日本の〈いま〉とミステリが禁断の融合! 緻密で大胆な構成と容赦ない「どんでん返し」の波状攻撃に瞠目せよ。日本推理作家協会賞受賞作を含む、痺れる五篇。

【児童】	著者	出版社
・かみなのに	たにうちつねお	大日本図書
・おばけのかわをむいたら	たなかひかる	文響社
・パンダのがらをなんにする?	おおのこうへい	PHP研究所
・ノラネコぐんだんそらをとぶ	工藤ノリコ	白泉社
・かいけつゾロリきょうふのダンジョン	原ゆたか	ポプラ社
・大ピンチずかん	鈴木のりたけ	小学館
・かみはこんなにくちゃくちゃだけど	ヨシタケシンスケ	白泉社

【大人】	著者	出版社
・新! 掃除の解剖図鑑	日本ハウスクリーニング協会	エクスナレッジ
・棘の家	中山七里	KADOKAWA
・赤ずきん旅の途中で死体と出会う。	青柳碧人	双葉社
・桜のような僕の恋人	宇山圭佑	集英社
・教誨	柚月裕子	小学館
・やる気1%ごはん テキトーでも美味しくつくれる悶絶レシピ	まるみキッチン	KADOKAWA
・たった5日でウエスト-7cm美くびれデザイン	廣田なお	幻冬舎
・ひとりぼぐし肩こり便秘たるみくみうつを自分の手で	崎田ミナ	日経BP

その他たくさんのお新刊が入りました。ぜひ図書室へお立ち寄りください!

戸籍の窓

2月16日～
3月15日届出分

お悔やみ申し上げます

地区	お名前(年齢)	世帯主・家族
赤松	佐藤 輝昌(67)	裕也
清水二	斉藤 美津(89)	進
上竹野	加藤クニ子(80)	秀正

※届出の際に、掲載希望の確認を行っています。担当窓口にお申し出ください。

人のうごき

令和5年2月末現在
()は昨年同期

世帯数	1,034戸	(1,046戸)
人口	2,929人	(3,031人)
男	1,463人	(1,520人)
女	1,466人	(1,511人)
出生	男 0人	女 0人 計 0人
死亡	男 1人	女 2人 計 3人
転入	男 1人	女 0人 計 1人
転出	男 1人	女 3人 計 4人

4月の予定

3日(月)	消防団辞令交付式 放課後児童クラブ対面式
4日(火)	大蔵村保育所入所式
8日(土)	大蔵小学校・中学校入学式
14日(火)	妊婦・育児相談
20日(木)	ヘルシーティース 肘折朝市
29日(土)	大蔵中学校運動会

5月の予定

3日(水)	消防団春季消防演習
9日(火)	献血
10日(水)	乳幼児健診
11日(木)	人権啓発活動「人権の花」
12日(金)	ぷらっとサロン
13日(土)	最上地区中学校駅伝
16日(火)	行政相談
17日(水)	地区代表者会議 農事代表者会議
18日(木)	ヘルシーティース
19日(金)	肘折温泉 山菜の食まつり
20日(土)	大蔵小学校運動会
31日(水)	役場窓口延長 19時まで



大蔵小学校卒業式



大蔵中学校卒業式



大蔵保育所修了式



発行・編集 大蔵村役場総務課

山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地

☎ 0233-75-2111
🌐 <https://www.vill.ohkura.yamagata.jp/>